

船旅の勧め

〇ホーム 福富 廉 [剣道部]

高知では、かつて、海路、神戸・大阪方面や足摺方面へ行く客船があり、我々が高校生の頃、フェリー化の波と共に、「フェリーかつら」や「さんふらわあ」に代表される大型フェリーが最大で7隻も就航し賑やかな時代がありました。やがて高速道路の整備とともに、それらが消えました。

代わって、10年前頃から、それまでアメリカや地中海で盛んだった客船クルーズがようやく我国でもブームとなって、最近では高知新港にもたくさんの大型クルーズ船が来るようになりました（2023年57回）。

また、最近ではテレビや新聞広告でも盛んに宣伝されているため、皆さんの認知度も上がっていると思います。

残念ながら、これから、我々の体力はだんだん落ちていくと思いますが、その時、客船によるクルーズ旅行は最も最適な旅行手段だと思います。

ただし、そうは言っても、まだまだ元気で、そして時間的な余裕もだんだんできてくる皆さん！！

最近では、海外では若年層にもクルーズは人気ですし、ゆったりした長距離フェリーの旅、現役時代はなかなか不安定で行けなかった遠い離島等々、今までできなかった、船を利用した“線と面”の旅をしてはいかがでしょうか。

子供時代から船マニアであり、一時は造船技師だった私が、これまでの経験を元に、お勧めをご披露します

【まず、ここでクイズ】

修学旅行で乗った宇高連絡船は、行き帰りそれぞれ何丸だったでしょうか。

行き：1971年10月20日（水）
11:20～12:20

帰り：1971年10月27日（水）
15:25～16:25

（答えは、このページの右下に）



長距離フェリー航路

凡例：

-  **ぜひ乗りたい航路**
-  **その他**
-  **その他**



積丹半島・神威岬



小樽出港（中央ドックラン）

新日本海フェリー
日本海に4航路
夏はどれもお勧め、真冬は厳しい



らいらっく

パンスター・ドリーム



パンスター・ライン
片道1泊だが、往復乗船すれば
クルーズ気分を味わえる
現在の船は、高知に来ていた
元、「さんふらわあ くろしお」

商船三井さんふらわあ
首都圏から行き易い



太平洋の日の出

太平洋フェリー
フェリー・オブ・ザ・イヤーの常連
一度は名古屋～苫小牧の乗船をお勧め



いしかり

東京九州フェリー
下り・北九州行は
足摺岬を15時頃通過
夏は佐田岬付近まで絶景
上り・横須賀行は夕方の
伊豆半島／伊豆七島が絶景



はまゆう

オーシャンフェリー
日中、潮岬沖、室戸岬沖を通過
部屋がやや簡素で食堂無し（全て自販機）



フェリーりつりん

マルエーフェリー
マリックスライン
名瀬～名瀬間は日中航海、
景色がいい



クイーンコーラル・クロス



北大東島
南大東島

足摺岬

室戸岬



離島航路

凡例：

 比較的観光で行き易い島々

 いわゆる本格的な離島



利尻島の利尻富士



船で行ける北海道最北端ノシャップ岬 (本当の最北端は宗谷岬)

利尻島・礼文島

天売島・焼尻島



焼尻島に入港する「おろろん2」向かいには北海道

奥尻島



奥尻島・奥尻港



船から見る鳥海山

飛島

粟島

佐渡島

舩倉島



佐渡島・両津港



隠岐諸島 (島前～島後間)

隠岐諸島



南・北大東島航路「だいとう」ゴンドラでの乗り降りが有名



対馬北部の島影



五島列島の若松水道は絶景



那覇周辺の島々行き船が発着する泊港

壱岐・対馬

萩周辺

瀬戸内海

伊豆七島北部

三宅島・八丈島



奄美と加計呂麻島間の大島海峡は絶景

平戸周辺

五島列島

甌島

屋久島・種子島



東海汽船「さるびあ丸」



利島・新島付近

小笠原諸島 (父島・母島)



11,000トンの大型船「おがさわら丸」片道24時間の航海

石垣島とその周辺

宮古島

奄美群島

沖縄周辺

南・北大東島



桜島と種子島行「プリンセスわかさ」鹿児島からの船は桜島や開聞岳の景色が素晴らしい

長距離フェリーの旅

コロナ禍で国内旅行が見直され、その中で、長距離フェリーの旅がブームになっています。フェリーの旅と言うと、以前は、安いけど、雑魚寝・揺れる・食事が高い等々、我慢しての船旅とのイメージがありました。今は、交通手段としてだけなら、高速バスやLCC等の方が安く、便利です。その代わりに、モーダルシフトの影響を受けて、船も大きく・豪華になり、個室化が進んで、かつ、食事等も豪華・リーズナブル、中には、ショーやイベント、映画上映等のある船も有り、船旅自体を楽しめるようになってきました。

できれば、日中の航海時間が長いフェリーで、そして、横になってばかりいないで、デッキで景色を眺め、船の設備を利用し尽くし、船旅そのものを楽しんでください。

最近では、ペットと一緒に泊まれる部屋やドッグランのような設備が整った船も多くなってきています。

太平洋沿岸	年中を通して楽しめます。苫小牧から名古屋までの2泊乗り通しや、横須賀から北九州への旅がお勧めです。
日本海沿岸	大型高速フェリーが就航し、特に夏場は穏やかで楽しい船旅が期待できます。夜間の発着が多いので、旅程には少し注意。冬は厳しい。
関西～九州	航路の数も船の数も多くて比較的安く、質のいい船旅ができます。ただし、夜間航海が主体なので、旅としてはやや物足りない面もあります。
奄美・沖縄	途中の島に立ち寄り／乗り降りしながらのアイランド・ホッピング旅がお勧め。奄美～沖縄間は日中航海。
海外	大阪・下関・博多から釜山行き、安さもあり好評。大阪～釜山は、金曜発月曜着の現地1泊クルーズ利用がお勧め。中国行きは旅客扱いを停止中。

離島への船旅

離島旅もある種のブームになり、解説書の類も多く出版されています。飛行機で行ける島も多いのですが、離島へ行くなら、ぜひ往復共、定期船を利用して行って欲しいです。だんだん近づいてくる島、だんだん離れていく島、この景色が一番の醍醐味ではないでしょうか。なるべくなら、各島で1泊以上滞在したいところです。

利尻島・礼文島 小笠原諸島	船から見る利尻山の景色は絶景です。片道24時間の船旅で、旅行し易い日程が組まれているので、一度は行く価値があると思います。
瀬戸内海	かなりの島へ橋で行けるようになりましたが、まだまだ船も主役です。瀬戸内芸術祭期間は小豆島付近が賑わいます。
隠岐諸島 吉岐・対馬	観光要素が多く、諸島内は絶景です。船便が多数出ていて観光要素も多くあります。島伝いに韓国に行くこともできます。
五島列島	長崎・佐世保・博多からの船便がありますが、福江発博多行きの昼便が絶景の若松水道と生月海峡を通過するのでお勧めです。
屋久島・種子島 奄美群島	桜島や開聞岳、佐多岬の沖を通過します。どの島へ立ち寄っても素晴らしいですが、奄美大島の南端・古仁屋港へ立ち寄る船が大島海峡を通る景色が絶景です。

ちなみに、今は、沖縄から宮古島・石垣島および両島間を結ぶ定期航路が無いのが、大変残念です。

客船クルーズ

クルーズ船のカテゴリー

今のクルーズ船は基本的にはモノクラス（1,2等の区別無し）で、部屋の違いでのみ料金が違いますが、それとは別に、船ごとにいわゆる格があり、それぞれの雰囲気があります。ただし、最近の大型船では、1つの船の中でサービスや利用できる施設の違いがある場合も有ります。（金額は標準的な2人部屋を想定）

カジュアル（1泊1~3万円） 基本的に何千人もの乗客を乗せる超大型船。様々なレジャー要素を組み込んだプレジャー・アイランドと考えていいと思います。

（ミュージカル・ショー、スケート・ショー、ボーリング、ゴーカート、サーフィン、ウォーター・スライダー、メリーゴーランド、ジップライン、ボルタリング、各種スパ、様々なレストラン等々）

ロイヤル・カリビアン、カーニバル、MSC、ディズニー、コスタ、ノルウィージャン等の船会社

※世界一周が売りのピースボートは一般のクルーズとはスタイルが異なります。

プレミアム（1泊3~5万円） カジュアルと比べるとやや大人しく、エンタメ控えめですが、一般的に食事が美味しいとされています。しっかりしたアフタヌーン・ティ等も有ります。

プリンセス、ホランド・アメリカ、セレブリティ等の船会社

ラグジュアリー（それ以上） 小中型で豪華な仕様の船が多いです。お酒やオプションツアー等を含むオール・インクルーシブが多いですが、エンタメ系は少なく、フォーマル・デー等の決まり事も少ない場合が多いようです。

日本船、キュナード、シルバー、クリスタル等の船会社

探検船 ラグジュアリーの一部ですが、比較的小さい船で主に南北の極域や秘境地域を周遊します。エンタメ系はほとんどありませんが、専門家のレクチャーがあったり、ゴムボートで無人島や秘境に上陸したりします。

服装

1週間に1~2回の頻度でフォーマル・デーが有る船が多く、これを気にされている方が多いです。でも、今は、男性はダーク系ビジネス・スーツに派手目のネクタイ、女性はそれと同等で少し華やかなくらいで十分です。その意図は、「少しおめかしして背筋を伸ばして食事しましょう。」という所です。なお、外国人は、ここで写真館ライクの家族写真を撮るのを楽しみにしているようです。

最近では、フォーマル・デーの無い船も有りますが、夕食時の短パン・タンクトップ・ビーチサンダルはご法度です。なお、個人の趣味で何としてでもいいですが、船のランクに合わせる必要も有ります。タキシードや着物もいいですが、船によっては浮いてしまうことも有ります。

食事

夕食は普通座席指定で、カジュアル／プレミアムは2回制、ラグジュアリー／探検船は1回制のことが多く、日本人は1回目を、外国人は2回目を好む傾向が多いようです。事前に希望を出して指定されますが、食堂の責任者に申し入れれば、空きがあれば変更もできます。また、テーブルは2人用から大テーブルまでありますが、これも指定され、同様に変更も可能です。無料の食堂でも一般的には十分ですが、最近の大型船は色々なアラカルト・レストランを設けており、有料ですが、色々な嗜好を楽しめます。なお、朝と昼はビュッフェか自由席の食堂を自由に選べます。最近ではビュッフェもほとんど1日中開いていることが多く、食堂に代わる軽めの夕食等でも利用可能です。

お勧め

まず、**最低でも3泊以上、そのうち、最低1日はどこの港にも寄らないクルーズ**を選んで下さい。日本船では1泊クルーズも有りますが、これはレストラン船に近く、クルーズの良さを体現できません。そして、クルーズ初心者の方には、まず、プレミアム船の「**ダイヤモンド・プリンセス**」の日本周辺1週間程度のクルーズをお勧めします。これを標準として、もし、クルーズを気に入って2回目以降を考える時の目安と見なせばいいと思います。日本船は世界的に見ればスタイルが少し特殊ですし、どちらかというラグジュアリー・クラスに入ります。あと、若年層と同道ならカジュアル船「**MSCベリッシマ**」もお勧めです。

クルーズを気に入って次を考えるのなら、ぜひアラスカをお勧めします。その景色は最高です。時差や言葉の問題は多少ありますが、ツアーとかも多数あります。その次は、エーゲ海／地中海等々と進めて行ってはどうでしょうか。お金と時間に余裕のある方は、その先、ラグジュアリー船の利用や、究極的には南極クルーズということも考えられますが。

高知の船々

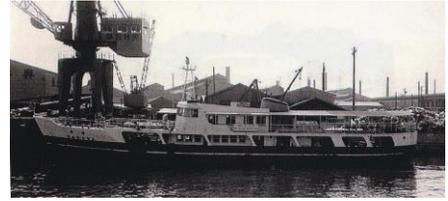
(全部ではありません。他に、室戸～大阪航路や宿毛市営・沖の島航路等々があります。)



高知～大阪航路「明石丸」 写真：関西汽船



高知～大阪航路「ひかり丸」 写真：関西汽船



高知～土佐清水航路「第三あしずり丸」



名古屋～高知～鹿児島航路「さんふらわあ」



名古屋～高知～鹿児島航路「さんふらわあ2」



高知～東京航路「さんふらわあ5」



「フェリーなにわ」



「とさ」



「さんふらわあ」



浦戸大橋をくぐる「さんふらわあ ころしお」



高知～大阪南港航路「フェリーかつら」



宿毛～佐伯航路「あしずり」 写真：宿毛観光汽船



土佐清水～甲浦～神戸航路「フェリーむろと」



高知～大阪南港航路「ニューかつら」



高知～東京航路「さんふらわあ とさ」



高知～東京航路「さんふらわあ ころしお」



【運航中】長浜種崎間県営渡船「龍馬」



【春～秋運航】浦戸湾のんびりクルーズ「GENKI 2号」



【運航中】浦の内湾須崎市営巡船「第五ころしお」



北極圏を航く



僚船とのすれ違い

ノルウェー沿岸
(絶景航路)



ローレライ付近を通るクルーズ船
リバークルーズ

イギリス周辺
・バルト海

西地中海

エーゲ海



サントリーニ島



ミコノス島

スエズ運河通過
(主に、ドバイ
～イタリア)

シンガポール周辺

いつかは
世界一周
(普通は西回り)

オーストラリア
東部周辺

日本周辺中心の外国船

(外国籍の船は最低1つ外国の港に行く必要があり、
たいてい、釜山、済州島、基隆等に立ち寄ります。)



「ダイヤモンド・プリンセス」



「MSCベリッシマ」

日本船 (国内のみも多数あり)



「飛鳥Ⅱ」
2025年夏「飛鳥Ⅲ」
就航予定



「にっぽん丸」
2024年末 僚船
「MITSUI OCEAN FUJI」
就航予定

日本周辺

日本船と「ダイヤモンド・プリンセス」、
「MSCベリッシマ」は、ほぼ通年就航。
春秋は外国船も多数来日して乗船可能。

カテゴリー別のクルーズ船



カジュアル船

「クワンタム・オブ・ザ・シーズ」



プレミアム船

「マジェスティック・プリンセス」



ラグジュアリー船

「クイーン・エリザベス」 「セブン・シーズ・エクスプローラー」



探検船

「ヘリテッジ・アドベンチャラー」

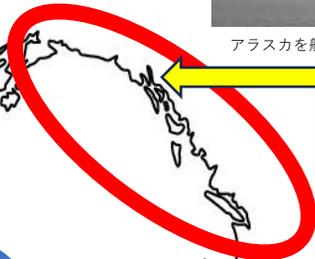
- 凡例：
- まずは日本周辺
 - 次に、行きたい、お勧め
 - いつかは、行きたい



アラスカを航く「ゴールデン・プリンセス」



氷河の目の前まで行く



アラスカ



ニューイングランド

太平洋一周／横断
オセアニア往復等



「セブン・シーズ・エクスプローラー」
ラグジュアリー船 高知新港



ハワイ諸島



「プライド・オブ・ハワイ」
ハワイ4島巡り



カリブ海
(西・東・南)
新造船が終結

パナマ運河通過
(主に、フロリダ
～カリフォルニア)



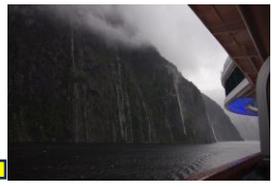
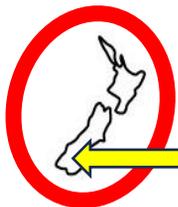
「ディズニー・マジック」



RCI
2024年1月就航した世界最大の客船
「アイコン・オブ・ザ・シーズ」

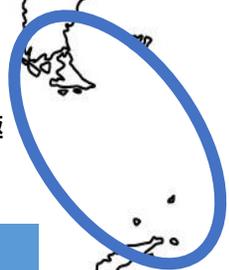


「リバティ・オブ・ザ・シーズ」



ミルフォード・サウンド

ニュージーランド周辺
(主に、シドニーから)



南極

主なクルーズ海域とトピックス